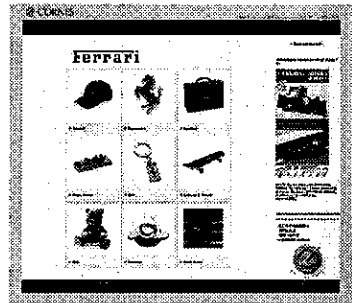


運営代行サービスを探る

コスト構造を重視

イマージュソリューションズ  
×  
コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド



イマージュソリューションズ(略称IS、本社

東京)は、グループ会社のアパレルECハイマージュ・ネットVや、化粧品「ライスフォース」のオンラインショップを運営してきた実績を生かし、ECショップ向けのコンサルティングや運営代行を展開している。同社はコスト構造を重視しており、費用が削減できる業務を洗い出して仕組みを改

善、その上で売上向上をめざしている。今年9月から運営代行しているアパレルサイトのカフェグロップ・ドット・コム(本社東京)ではすでに20~25%のコスト削減を実現しているという。

事例

データセンター移管でコスト15%削減

ISが昨年6月からサイトの運営代行を行うコーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド(本社東京)の事例を紹介する。高級車「マセラティ」や「フェラーリ」などの販売代理業を行うコーンズ・アンド・カンパニー・リミテッドは、01年1月にフェラーリ、マセラ

ティブランドのオフィシャルグッズを販売するECサイトへe-CORN ESVを立ち上げた。立ち上げ時から運営は他社に委託しており、現在業務を請け負っているISは3社目にあたる。

ISはコーンズ社のサ

イト運営における月々のランニングコストがかかりすぎていると判断し、データセンターをISに移管。これにより「サーバー維持費を15%削減できた」(コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド 部品グループ パー

ツ・営業管理チーム長井 克仁氏)という。また海外からの攻撃によるシステムトラブルがあった際には、即時に復旧作業にあたり、「在庫トラブルは起こらず、通常の発送業務に戻れた」(同)としている。

ECサイトの運営を代行する支援会社に注目したい。初期費用や月額固定料金はなく、商品が売れた段階で、売り上げの数%を販売手数料として支払う成果報酬型にしている企業が多いため、少ないリスクで導入できる点に魅力を感じるEC事業者が増えている。そこで本紙は、実際にサイト運営代行サービスを活用しているEC事業者と支援会社3社に話を聞き、各社の特色やその効果について探った。